

平成19年度

教育委員会活動の点検及び評価報告書

平成20年12月

京丹後市教育委員会

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第二十七条の規定に基づき、平成19年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

京丹後市教育委員会委員名簿（平成19年度在籍）

職 名	氏 名
委員長	美 王 恵次郎
同職務代理者	上 羽 敏 夫
委員	岸 田 薫 子
委員	山 本 和 美
委員（教育長）	引 野 恒 司

目 次

○自己点検・評価について

○教育に関する学識経験者の意見

I 教育委員会の活動状況 P 1～5

1. 教育委員会の開催状況
2. 教育委員会委員の主な活動

II 施策の点検・評価 総括表

1. 学校教育の充実 P 6～7

- (1) 学校規模の適正化
- (2) 学校教育施設の整備・充実
- (3) 学力向上と心身の育成
- (4) 食育の推進
- (5) 学校、地域の安全確保
- (6) 地域に開かれた学校づくり
- (7) 幼稚園、小学校、中学校の取り組み

2. 若者の育成 P 8

- (1) 青少年の健全育成
- (2) まちづくりへの若者の参加促進
- (3) 修学支援

3. 社会教育・スポーツの充実 P 9～10

- (1) 社会教育体制の確立
- (2) 図書館ネットワークの確立
- (3) 生涯学習推進体制の整備

4. 歴史文化遺産の保全と活用 P 11

- (1) 歴史資料館のネットワーク
- (2) 丹後王国の歴史文化の保存・発信
- (3) 文化財の保存と活用
- (4) 市史編さんの取り組み

III 平成19年度事務事業評価調書等

(別紙)

事務事業評価調書
学校評価

京丹後市教育委員会所管事務に係る自己点検・評価について

平成16年4月に京丹後市が誕生してから4年が経過しました。

平成19年度、教育委員会議は毎月の定例会のほか、7月、2月、3月に臨時会を開催し、条例や教育委員会規則等の一部改正、京丹後市子どもの読書活動推進計画の策定、事務局管理職の人事、指導主事等非常勤特別職の委嘱、諸行事の後援承認等を行いました。協議会も3回開催し、問題事象等発生時に速やかな情報共有を行い、問題解決にあたりました。

なお、教育委員視察研修として、富山市においては学校統合、学校選択制の導入、学校給食を、また氷見市においては富山県内初の「幼保連携型」認定こども園の施設運営を学習しました。

また、中山市長の指示を受けて、教育委員会では7月に20名からなる学校再配置検討委員会を立ち上げるとともに、旧6町域に119名からなる検討分科会を設置して学校再配置の検討に着手しました。年度内には3回の検討委員会、延べ40回の検討分科会を開催し、協議を重ねていただきました。

また、奨学金選考・検討委員会から答申をいただき、京丹後市奨学金制度の一部改正を行い、平成20年度から改正後の制度により実施することになりました。主な改正内容は、直近の所得状況を反映した審査や選考方法の厳密化、高校生の原則3年間支給保障の採用などです。

就学前教育では、間人保育所・豊栄保育所の統合を契機として、丹後幼稚園の新設に取り組み、子育て支援課と連携、協議しながら事務を進めました。

さらに、網野中学校管理棟の改築工事を行い、既存管理棟の解体とともに、既存校舎との接続を改善し、装いを新たにした快適な教育学習環境の整備を図ることができました。学校耐震化事業においては、峰山中学校と高龍中学校の耐震診断を行いました。

また合併以来の懸案であった小中学校の教育情報化事業に着手し、パソコン教室情報機器の更新をはじめ、校務情報化やIP電話の導入、学校ホームページ作成・更新のための事業等を進めました。

授業実践力開発講座は3年目に入り、引き続き兵庫教育大学のご協力をいただきながら、教職経験10年未満の小学校教諭を対象に9回の研修を行うとともに、その成果を各学校へ還元することができました。

京丹後市教育実践モデル校としては、5小学校、2中学校でそれぞれの学校教育課題をテーマに実践を行うとともに、研究指定校としては2校が文部科学省の、6校が京都府教育委員会の指定を受けて研究実践を行いました。

学校支援のためのスクールサポーター事業では、15校に延べ20名の介護職員を、また4校に延べ4名の複式学級困難校加配職員を、さらに各中学校及び大宮第一小学校に延べ10名の心の教室相談員を配置して支援を行うとともに、教育委員会事務局に教育相談員を配置して不登校等の事象に対する幼稚園・小中学校教員への相談活動を行いました。

社会教育の分野では、8月に本市が友好都市提携を行っている中国亳州市から中学生19名と教育局副局長等4名の計23名が来丹し、峰山中学校、大宮中学校等多くの本市中

学生と交流を深めるとともに、一般市民宅での1泊ホームステイも行い、友好親善と相互理解を深めることができました。

図書館分野では、合併以来の懸案であった図書館システム統合のうち、峰山・あみの両図書館本館システムの統合を行い、引き続き4分館も含めた全館の統合につなげ、市民サービスの向上に努めていく基盤を整備することができました。また、図書館協議会では子どもの読書活動推進計画策定に取り組みました。

社会教育活動では本庁社会教育課が所管する事業とともに、6つの地域公民館及び45の地区公民館、12分館を拠点とした公民館活動の中核に、社会教育委員や体育指導委員等各種委員や、文化協会、体育協会等関係団体と連携協力しながら幅広い事業を展開しました。

一方、文化財の分野では、7月26日付けで、琴引浜が国の名勝・天然記念物として、また赤坂今井墳墓が国指定史跡として指定を受けるという記念すべき画期的な年となりました。一方、久美浜湾カキの養殖景観が平成20年3月28付けで京都府選定文化的景観として選定されました。発掘調査では、網野銚子山古墳と湧田山1号墳の調査を行ったほか、市史編さん事業は3年目に入り、文化財博士講座も順調に進捗し、文化財博士等の認定も初めて行いました。

しかしながら、国庫補助金を受けて平成15年度から5年間にわたって実施した稲葉家資料調査事業と、国庫補助金及び京都府補助金を受けて実施した網野銚子山古墳及び湧田山1号墳発掘調査事業においては、平成19年度の不適切な会計処理が大きな問題となり、その結果、平成20年度になって当該補助金を返還するという極めて遺憾で残念な事態となりました。

このため市では、印刷発注や物品購入、請負工事等の事業完成時における検査手順や体制をより厳格化するなど再発防止策を強化するとともに、教育委員会事務局でもこれを教訓として、より一層チェック体制を厳しくし、二度とこのような事態が発生することのないよう誓い合ったところです。

平成19年度は国においても学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、教育職員免許法及び教育公務員特例法等の一部改正が行われたほか、新しい学習指導要領が告示されるなど、教育界にとって大きな画期となりました。本市教育委員会としてもこれら教育改革の動きを機敏にとらえ、今後の教育行政に主体的に反映させていくとともに、教育に対する市民の大きな期待に応えるため、あらゆる創意と智恵を発揮して新しい施策に生かすなど、渾身の努力を傾注して邁進しなければなりません。

平成20年12月

京丹後市教育委員会

教育に関する学識経験者の意見

- 1 外部評価者 職名 立命館大学嘱託講師（「教育法規」担当）教職支援センター主任
氏名 長野 光孝
平成 20 年 12 月 12 日

2 序論

立命館大学の特別講義（12 月 4 日開講）で中山泰京丹後市長は、市の将来像「ひと、みず、みどり 歴史と文化が織りなす交流のまち」を示し、市民参加で意見や知恵を集めて「市民の息づかいを感じ、痛みを分かち合う」効率的行政を推進していると講義され、大きな感銘を受けたところであるが、今般、図らずも米田敦弘教育長から本市教育委員会の活動状況及び施策についての評価を依頼された。以下、その評価所見を述べる。

3 教育委員会の基本姿勢について

平成 19 年度、教育委員会は、前述の将来像実現に向けて「郷土を愛し、人間性にあふれる心身ともに健全な幼児児童生徒の育成」を「指導の重点」の基本方針に掲げ、市の歴史・文化と自然を生かした「特色ある学校」「開かれた学校」「安全・信頼される学校」を目指し、全市民・保護者の信託に応える教育行政を目標に、学校教育・社会教育、文化・スポーツ振興、文化財保護等々に関する幅広い事業と事務の処理を実施されてきた。教育委員会は、教育の管理運営における首長からの独立性・独自性を保持しながら、常に市政との統一性と調和ある方針の下に施策・事務事業を適正に執行している。

4 教育委員会の開催状況等について

教育委員会は、平成 19 年度、定例会（臨時会）、研修会（視察研修等）、学校訪問、懇談会（校長会等）、教育委員協議会等を適時に開催し、レイマンコントロールを機能させている。教育委員会で審議・報告された事項は膨大多岐にわたるが、特に新設された地教行法第 26 条 2 項に示す項目については、適正に審議・処理されている。

今後、教育委員会をさらに活性化するために、国の教育改革を視座に市の教育を展望し、課題によっては事務局提案事項の考え方を覆すような白熱した議論を期待するところである。また、教育委員会は適時に学校訪問をしているが、回数がやや少ない。計画的に学校訪問して、幼児・児童・生徒の学校生活実態にふれたり、学校現場で教職員と膝を交えて交流する機会等を増やすことが望まれる。

5 学校再配置の検討について

教育委員会は市長の指示の下、市立学校再配置の課題に取り組み、平成 19 年 7 月以降、学校再配置検討委員会を設置して基本的な観点や方向性を明らかにしながら、旧町域に検討分科会を組織して協議を重ね、本年度に引き継いでいる。教育は「国家 100 年の大計」であり、市立幼稚園・小・中学校の再配置は新しい京丹後市の未来プランである。要は、全市的な視野と様々な教育的観点をふまえて旧町意識や地域エゴを克服すること、そして、

「新しい時代の学校づくり」として、丹後の歴史と文化、伝統を生かした新しいタイプの学校や小中一貫校の設置等、広く市民各年代・各層の意見や知恵をきめ細かく集約して方針を定めることである。教育委員会が市政の示す「新しい時代の市(まち)づくり」と協働・タイアップした10年20年先の京丹後教育ビジョンを明確にしてリーダーシップを執り、市民の夢・プランの実現となるようにねばり強く取り組むことが肝要である。

6 学校評価について

平成19年度、各学校は教育活動・学校運営状況を自己評価し課題を公表して、保護者・地域と一体になって児童生徒の健やかな成長を目指して成果を挙げてきた。次年度、さらに学校教育を改善し保護者・地域の信託に応えるため、各校の特色づくり、学校目標等を数値目標で表し、図やグラフ、写真でビジュアル化して、成果・課題が教職員だけでなく広く保護者・市民に理解され、学校・家庭・地域社会がそれぞれの立場から何を為すべきか責務が分かるようにして評価を発信することが必要である。

教育委員会は、特色ある取組や成果に対して積極的に評価して他校や地域に啓発・普及すること、また、課題のある学校には適切な指導・助言、指示を与え改善するとともに、人事面や学校運営予算等を適切に配分して物心両面からサポートすることが大切である。

7 学校教育活動について

教育活動を活性化するため、教職員の意識改革が必要である。改正教育基本法のキーワード「公共の精神、伝統・文化の尊重、信頼される学校、学校・家庭・地域の連携、生涯学習社会の実現」等新しい理念、教育の目的・目標、新学習指導要領の趣旨を周知徹底しなければならない。児童生徒が生き生きと学習して豊かな人間性と確かな学力を身につけ、「いじめ」や不登校、校内暴力や問題行動を克服してこそ保護者・地域の「信頼を得る」ことができるのであり、「信託に応える」ことになるのである。

教育委員会は、TTによる指導、習熟度別指導等授業改善、「授業実践力開発講座」等の専門的な研修会を充実させて、授業で勝負する実践的指導力と教師力を高めるよう支援することが課題である。

8 その他

社会教育・文化財保護・社会体育等の諸事業は、過年度までの前例を基に適正に推進されているが、今後、改正教育基本法に則り、生涯学習社会の実現を目指すと共に、特に、市が世界に誇る国宝・重要文化財、伝統産業、「祭り」、自然環境等々、豊かな伝統・文化・自然遺産を守り、継承・発展させて市民の誇りと愛郷的態度を培いながら、観光資源として活かして、さらなる地域活性化へとつなげることを期待するところである。

教育に関する学識経験者の意見

1 外部評価者 職名 国立大学法人 愛知教育大学教育学部 教授

氏名 寺本 潔

平成 20 年 12 月 15 日

2 序論

平成 16 年 4 月に京丹後市が誕生し、教育行政も広域行政の時代に入ってきた。中山間地は何れも人口の流出や産業の衰退、少子高齢化などが進展し、教育行政も様々な苦心を経験されていると思われる。合併による広域化した地域社会では、従来の大字単位での地域活動が困難な事態を迎える側面もあるが、広域化を効率的運用と新しいアイデアでプラスの方向に捉えていって欲しいものである。外部評価者としては、そういった新しい可能性がいかに見出せるかも評価の視点に入れて点検してみた。

3 本論

最も注目した答申は、本年 11 月 21 日付けの学校再配置の検討結果である。小学校 31 校、中学校 9 校の再配置計画であるが、延べ 10 回の熱心な委員会開催によって問題点は抽出されたと思われる。その中で峰山町での分科会にて「新築で 1 校に統合する」案も出されているようであるが、小学校 1 校の新築には 15～20 億円程度は必要になることから、財政的にはかなり問題がある案と考えられる。一方、複式学級の解消に努めていく方針には理解できる。複式だから教育レベルが低いと短絡はできないが、学びは仲間や他者との対話によって深まる協同学習の必要性が国際的にも高まっている今日、ある程度の学級集団の規模は必須である。また、教職員の専門性や個性の多様性、教材や施設の活用面からも、ある一定数の学級児童数は必要であろう。答申書では問題点の整理は十分に出来ている。しかし、最後の文面において「京丹後市らしい学校再配置計画が策定されるようお願いして答申する」だけでは不十分である。再配置計画の具体的メニューを揃えて答申するべきである。例えば、学区の見直し、統廃合の時期、スクールバス運用の改善策、学校施設の利活用、地域おこしと学校施設の活用などの観点から、再度詳細をつめるべきであろう。評価者である寺本は現在、豊田市の学校規模検討委員会座長を務めており、広大な山間部を持つ豊田市の学校統廃合に関して「合校方式」と名づけている方式の検討に入っている。一気に廃校に追い込むのではなく、数校のセットで考える方式である。参考にして頂ければ幸いである。

次に学校評価に関する自己評価書である。各校の中身を検討してみたが、確かな学力の育成やスクールマネジメントによる数値化なども試みされていて、老朽化著しい校舎にあり、予算も少ない中で努力しているように判断できる。

社会教育活動の側面では、京丹後史文化財博士の試みが注目される。この方面に対する経費がわずか 10 万円では少ないのではないだろうか。歴史と文化が京丹後市の魅力である。この資源を次世代の子どもにも引き継ぎながら、教育振興を図ってほしい。

また、琴引浜と久美浜湾の牡蠣養殖景観は地域の観光資源であり、ホスピタリティ精神の

育成もあわせた「観光学習」の展開に有効な題材となり得る。もっとその利活用に関心をもつべきではないか。

最後に教育委員会議の開催状況であるが、毎月開催されて熱心に討議されているのはわかるが、承認事項が多く、議題が少ないのではないか。中山間地にあってどうすれば教育振興ができるか、「町おこし」と連動した「教育おこし」、京丹後市のよさを生かした振興策の検討に時間を割く会議であって欲しい。

4 総括

授業実践力開発講座など、兵庫教育大学との連携は期待が持てる事業である。古墳調査の会計処理に問題があったようであるが、行政の透明性は十分に確保する必要がある。住民も行政に甘えたり、批判したりするだけでなく、アダプト制度のように自分ごととして次世代の子どもの育成に当たる教育風土を持つように促していく必要がある。

5 総合意見

事務事業評価調書の中に6つの点検項目があり、戦略性がトップにあげられているのは素晴らしい。しかし、戦略的な観点で吟味されているかどうか分かりにくい。また、アクション（改善）欄も設けられており、評価できる。しかし、経費が限られ、さらに人材不足なども相俟って事業運営には苦勞されていると思うが、発想の垣根を取り除いたアイデアと実行力を見せて欲しい。活性化のポイントは、少ない予算と人手で効果をあげるためにはどうしても協同するほかはない点を共通理解し、縦割りの仕事の協同化を図ることではないだろうか。学校教育と社会教育の垣根をできる限り低くしたいものである。さらに管理職手当などの占める割合が高齢化と共に高まっているため、効率的運用はどの方面でも進めなくてはならない。社会体育やスポーツ大会運営に当たっては、熱心に展開されているようで健康増進の側面からは望ましいが、道具の貸し借りや会場費の節減のために合同大会なども開くなど、経費節減がさらにできないかを検討する必要があるのではないだろうか。

合併前の農村文化や豊かに残る自然環境を生かした魅力づくりを都市間交流事業で活性化できないか。長期間の民泊による教育も都会の児童生徒には必要である。京丹後市と京都市や神戸市などの教育との連携を模索できないか。日本の心のふるさとである京丹後市の資源を教育資源と位置づけ、予算の重点化と活性化を図る戦略的時代に入っている。行政としては各旧町村への公平な施策を期待されてはいると思うが、広く浅くでは配当予算も少なく活性化の動きにはつながらない。重点化することで初めて動きに弾みが出る。

Ⅰ 教育委員会の活動状況

Ⅰ 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況（平成19年4月～平成20年3月）

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
19.4.6	4月定例会	36	京丹後市立学校再配置の検討について
		37	専決処分の承認について（第3回マルハンカップ少年野球大会に係る後援）
		38	専決処分の承認について（2007八丁浜芝生広場オープン記念少年サッカー大会に係る後援）
		39	専決処分の承認について（京丹後市教育委員会公印規程の一部改正）
		40	専決処分の承認について（京丹後市立学校事務職員の職の設置に関する規則の一部改正）
		41	平成19年度北丹陸上競技協会主催競技会に係る後援について
		42	第22回京丹後市ゲートボール選手権大会に係る後援について
		報告 3	奥丹後地方教職員組合からの全国学力・学習状況調査に係わる申し入れについて
19.5.8	5月定例会	43	京丹後市学校再配置検討委員会及び検討分科会設置要綱の制定について
		44	平成19年度秋季特別展「王墓の考古学—丹後の弥生王権成立の謎を解く—」に係る後援について
		45	「お話フェスティバル」に係る後援について
		46	京都サンガビーチサッカーフェスタ2007 in 網野に係る後援について
		47	第21回網野カップ少年サッカー大会に係る後援について
		48	文部科学大臣杯第3回小・中学校将棋団体戦京都府北部地区予選大会に係る後援について
		49	「ポップスコンサート2007 in 峰山」に係る後援について
		50	専決処分の承認について（はだしのコンサートに係る後援）
		51	専決処分の承認について（神野小学校敷地内での車両物損事故に係る損害賠償）
		報告 4	平成19年度「親と子のふるさと教室」の実施について
19.6.6	6月定例会	52	京丹後外国人安全対策協議会について
		53	第12回グランドシニアゲートボール大会に係る後援について
		54	第24回あみの歌謡フェスティバルに係る後援について
		55	弥栄町青少年をそだてる会事業に係る後援について
		56	第9回羽衣交流グラウンドゴルフ大会 in 京丹後市に係る後援について
		57	第35回・最終記念 和多田杯争奪体操競技大会に係る後援について
		58	第40回峰山スポーツ祭典に係る後援について
		59	平成19年度社会福祉体験学習に係る後援について
		60	第10回あみの八丁浜ロードレース大会に係る後援について
		61	第20回網野町ふれあいコンサートに係る後援について
19.6.6	6月定例会	62	久美浜公園まつりに係る後援について
		63	専決処分の承認について（第4回京丹後市長杯争奪中学校野球大会に係る共催）
		64	専決処分の承認について（平成19年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会及び第23回全国高等学校カヌー選手権大会京都府予選会兼京都府高等学校カヌー選手権大会に係る後援）
		65	専決処分の承認について（第9回京丹後市ソフトバレーボール大会に係る後援）
		66	専決処分の承認について（キッズ（U-6/U-8）サッカーフェスティバル イン 大宮に係る後援）
		67	行政財産の用途廃止について
			委員長の選挙について（美王 恵次郎氏） 19.7.8～1年間
			委員長職務代理者の選挙について（上羽 敏夫氏） 19.7.8～1年間
		68	京丹後市奨学金条例施行規則の一部改正について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
19.7.4	7月定例会	69	京丹後市琴引浜鳴き砂文化館条例施行規則及び京丹後市立資料館条例施行規則の一部改正について
		70	京丹後市立学校他校通級実施要綱の一部改正について
		71	平成19年度「新・京都SKY大学」に係る後援について
		72	女性講演会に係る後援について
		73	京都府小学校教育研究会体育実技研修会に係る後援について
		74	専決処分の承認について（「久美浜を描いた絵図」展示に係る共催）
		75	専決処分の承認について（第57回「社会を明るくする運動」きょうたんご「市民のつどい」に係る後援）
		76	専決処分の承認について（第3回京丹後市長杯争奪学童野球大会に係る後援）
		77	専決処分の承認について（「京セラミタ・京都サンガF.C.」ふれあいサッカー教室に係る後援）
		78	専決処分の承認について（平成19年度伝統文化こども教室（茶道子ども教室）に係る後援）
		79	専決処分の承認について（平成19年度伝統文化こども教室（京丹後市装道装和装礼法子ども教室）に係る後援）
		80	専決処分の承認について（平成19年度伝統文化こども教室（お琴教室）に係る後援）
		81	専決処分の承認について（京丹後市ファミリーバドミントン教室交流大会に係る後援）
		82	「フェスタ『飛天』2007 in 京丹後」に係る共催について
		83	平成19年度伝統文化こども教室（伝統文化こども作法教室）に係る後援について
		84	第3回京丹後市総合体育大会に係る後援について
19.7.13	7月臨時会	85	府費負担教職員の服務に係る措置処分の内申について
19.8.8	8月定例会	86	平成19年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 峰山町教職員球技大会事業に係る共催について
		87	平成19年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 大宮町教職員球技大会事業に係る共催について
		88	平成19年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 網野町教職員球技大会事業に係る共催について
		89	平成19年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 丹後町教職員球技大会事業に係る共催について
		90	平成19年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 弥栄町教職員球技大会事業に係る共催について
19.8.8	8月定例会	91	平成19年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 久美浜町教職員球技大会事業に係る共催について
		92	第27回（平成19年度）京丹後市小学生バレーボール大会に係る後援について
		93	舞鶴高専PRフェスティバルに係る後援について
		94	平成19年度京丹後市網野文化祭に係る後援について
		95	平成19年度京都府小学校教育研究会音楽科教育研究大会に係る後援について
		96	専決処分の承認について（第6回ジュニアゲートボール大会に係る後援）
		97	専決処分の承認について（夏休みジュニアゲートボール教室に係る後援）
		98	専決処分の承認について（第31回丹後中央ライオンズクラブ学童野球大会に係る後援）
		99	専決処分の承認について（飛天Cup第9回丹後オープンソフトテニス大会in京丹後に係る後援）
		100	タイ・ナショナルベースボールチーム支援事業に係る共催について
		101	「赤とんぼコンサート」に係る後援について
		102	平成19年度不法投棄防止キャンペーンに係る後援について
		103	第19回歌謡ファンタジーに係る後援について
		104	京丹後市立図書館条例施行規則の一部改正について
		105	「琴引浜」天然記念物及び名勝国指定記念シンポジウムに係る共催について
		106	第16回上山杯争奪少年少女柔道大会に係る後援について
		107	第40回京丹後市小学校特別支援学級ふれあい交流会に係る後援について
		108	第26回「やさか芸能の夕べ」に係る後援について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
19.9.5	9月定例会	109	モラロジー生涯学習セミナーに係る後援について
		110	中学硬式野球京丹後ボーイズ親善大会に係る後援について
		111	第23回みねやま駅伝大会に係る後援について
		112	丹後吹奏楽団第19回定期演奏会に係る後援について
		113	「華麗なるストラディヴァリウスの響き」に係る後援について
		114	第1回ドコモダケ杯ソフトバレーボール交流大会に係る後援について
		115	「安養寺蠟燭能」及び「わかる・楽しい能楽体験講座」に係る後援について
		116	第18回丹後中学女子ソフトボール大会に係る後援について
		117	専決処分の承認について（行政財産の取得）
		118	専決処分の承認について（京丹後市立図書館条例施行規則の一部改正）
		119	専決処分の承認について（第21回丹後中央ライオンズクラブ少女バレーボール大会に係る後援）
		報告 5	財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
19.9.5	9月定例会	報告 6	「図書館等相互利用に関する覚書」の締結について
		120	平成19年度丹後ブロック中学校駅伝競走大会に係る共催について
19.10.2	10月定例会	121	第16回京丹後市小学校駅伝競走大会に係る共催について
		122	網野少年剣道教室開設40周年記念大会に係る後援について
		123	第1回網野グリーンカップ少年サッカー大会U-10に係る後援について
		124	第10回京丹後ソフトバレーボール大会に係る後援について
		125	平成19年度久美浜町文化祭に係る後援について
		126	平成19年度丹後町文化祭に係る後援について
		127	みんなで走ろう10分の1マラソンとウォーキングに係る後援について
		128	第33回丹後町地区対抗駅伝競走大会に係る後援について
		129	平成19年度京丹後市PTA協議会研究大会に係る後援について
		130	第42回大宮町一周駅伝競走大会に係る後援について
		131	「みんなでつくろう京丹後のカルタ！まちへの思いを込めて」に係る後援について
		132	専決処分の承認について（第15回高龍寺登山まつりに係る後援）
		133	専決処分の承認について（2007年かがやきの杜ふれあいバザーに係る後援）
		134	専決処分の承認について（平成19年度子育て講演会に係る後援）
		135	行政財産の用途廃止について
		136	京丹後市小・中学校音楽フェスティバルに係る共催について
19.11.7	11月定例会	137	（仮称）丹後幼稚園の設置について
		138	全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて
		139	「教育講演会」に係る後援について
		140	第16回中野真理子杯京丹後市小学生バレーボール大会（新人大会）に係る後援について
		141	京丹後市 第13回カニの町「丹後町」親善ゲートボール大会に係る後援について
		142	第27回「京都新聞書き初め展」に係る後援について
		143	JFAキッズ(U-6/U-8) & レディース/ガールズ サッカーフェスティバル2007 & JFAファミリーフットサルフェスティバル2007に係る後援について
		144	専決処分の承認について（豊栄小学校グラウンドでの事故に係る損害賠償）
		145	専決処分の承認について（第23回小学生駅伝大会に係る後援）
		146	専決処分の承認について（第1回ドコモダケ杯ソフトバレーボール交流大会に係る後援承認の取消し）

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
		報告 7	奨学金制度の答申について
		報告 8	「第4回京丹後市小町ろまん全国短歌大会」事業実施（京丹後市教委・京丹後市・NHK学園・NHK京都放送局共催）
19.12.5	12月定例会	147	第3回五色百人一首近畿地区大会in福知山に係る後援について
		148	パソコンボランティアアドバイザー養成事業実践講座に係る後援について
		149	専決処分の承認について（京丹後市新春ソフトバレーボールフェスティバルに係る後援）
		報告 9	京丹後市立公立学校施設整備計画の変更について
		150	平成19年度第18回丹後町少年少女意見発表大会に係る後援について
		151	専決処分の承認について（滋賀県立芸術劇場びわ湖アンザンブル演奏会に係る後援許可の取消し）
20.1.4	1月定例会	1	京丹後市指導主事等服務規程の制定について
		2	平成19年度大宮児童合唱団定期演奏会に係る後援について
		3	平成19年度京都府学校文化・芸術祭－第39回教育美術展覧会北部展覧会に係る後援について
		4	専決処分の承認について（京丹後市久美浜地域公民館長の解任）
		5	専決処分の承認について（京丹後市久美浜地域公民館長の任命）
20.2.6	2月定例会	6	平成20年度「指導の重点」について
		7	京丹後市奨学金条例の一部改正について
		8	京丹後市奨学金条例施行規則の一部改正について
		19	京丹後市立幼稚園条例の一部改正について
		20	京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		21	京丹後市指導主事の設置、服務等に関する規則の一部改正について
		22	京丹後市教育長に対する事務委任規則の一部改正について
		23	京丹後市立小・中学校において使用する教材の取扱いに関する規則の一部改正について
		24	京丹後市立網野学校給食センター条例施行規則の一部改正について
		25	京丹後市立学校出席停止の命令の手續に関する要綱の一部改正について
		26	京丹後市外国語指導助手の服務等に関する規則の一部改正について
		27	久美浜町立小学校及び中学校の遠距離通学に関する規則の廃止について
		28	網野高等学校「第35回美術・書道作品展」に係る後援について
		29	第22回丹後スキー大会開催に係る後援について
		30	「次代へ残す鳴き砂の琴引浜」ならびに「次代へ残す鳴き砂の琴引浜の白砂青松事業」に係る後援について
		31	峰山小年少女合唱団第29回定期演奏会に係る後援について
		32	丹後の自閉症児を育てる会 市民講演会に係る後援について
		報告 1	京丹後市スポーツ振興計画策定について（経過説明）
20.2.27	2月臨時会	33	平成20年度教育予算について
		34	平成20年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について
		35	京丹後市スポーツ振興計画の策定について
		36	平成20年度全国学力・学習状況調査の実施について
		37	行政財産の用途廃止について
		38	京丹後市教育委員会の課長補佐（相当職を含む。）の職以上の人事について
		39	京丹後市社会教育委員の委嘱について
		40	京丹後市文化財保護審議会委員の委嘱について
		41	京丹後市指導主事の任命について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
20.3.6	3月定例会	42	京丹後市地域公民館長の任命について
		43	京丹後市立資料館長の委嘱について
		44	京丹後市社会教育指導員の委嘱について
		45	京丹後市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例施行規則の制定について
		46	京丹後市スクールバス運行管理規程の全部改正について
		47	京丹後市総合型地域スポーツクラブ活動補助金交付要綱の一部改正について
		48	第19回丹後サッカーフェスティバルに係る後援について
		49	第12回京丹後女子親睦ゲートボール大会に係る後援について
		50	久美浜児童合唱団第5回スプリングコンサートに係る後援について
		51	第4回京丹後市少年剣道大会に係る後援について
		52	第4回マルハンカップ少年野球大会に係る後援について
20.3.19	3月臨時会	53	京丹後市スポーツ振興審議会委員の委嘱について
		54	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について
		55	京丹後市立幼稚園条例施行規則の一部改正について
		56	京丹後市子どもの読書活動推進計画の策定について
		57	専決処分の承認について（2008ウエスタンリーグ公式戦に係る後援）

2. 教育委員会委員の主な活動

月 日	件 名	場 所
19. 5. 9	地教委連総会・研修会 講演「改正教育基本法と教育委員会」	与謝郡与謝野町
19. 5. 21	京都府市町村教育委員会連合会定期総会 講演「ストップ・ザ・児童虐待」	京都市
19. 6. 6	教育委員協議会（鳥取小 ガラス破損）	大宮庁舎
19. 6. 12	教育委員協議会（新山小暴力）	大宮庁舎
19. 7. 17～18	教育委員視察研修 （学校統合・学校選択制の導入・学校給食・認定こども園について）	富山県富山市・氷見市
19. 7. 31	教育委員協議会（当面の課題）	大宮庁舎
19. 8. 2	教育委員と市長との懇談会	峰山庁舎
19. 8. 7	中国安徽省亳州市中学生友好交流代表団の訪問に係る学生交流事業	アグリセンター大宮
19. 8. 8	教育委員と中学校長会との懇談会	峰山庁舎
19. 10. 12	近畿市町村教育委員研修 講話「改正教育三法成立後の市町村における教育委員会組織運営と 教育行政のあり方」 講演「子どもの危機をどう見るか」	滋賀県栗東市
19. 11. 2	京都府内市町村教育委員研修 講演「今後の地方教育行政について」 講演「京都府における学校教育推進上の課題」	京都市
19. 11. 8	学校訪問（公開授業）	間人小学校
19. 11. 27	丹後地方教育委員会連合会視察研修 （小中一貫教育の取り組みについて）	奈良県御所市
19. 12. 5	網野中学校改築現場視察	網野中学校

Ⅱ 施策の点検・評価 総括表

(施策の点検・評価 総括表 説明資料)

A. 自己評価区分

戦略性 (上位施策に対して有効か)	①基本計画の主要事業である
	②実施計画の掲載事業である
	③計画に結びつく事業である
	④結びつかない
市の関与の妥当性 (市が実施する必要があるか)	①市が実施する事業である
	②市民等の参画協力の余地がある
	③市民等民間へ移行の余地がある
	④市が関与するものでない
時代適合性 (社会情勢等から見て必要か)	①当初と変わらず必要性は高い
	②社会情勢の変化、住民ニーズの変化により若干薄れてきている
	③薄れている
効率性 (コスト単価・経費削減への 取り組み)	①削減の余地は全くない
	②削減の余地は若干ある
	③削減の余地がある
有効性 (目的・必要性に対しての 効果)	①大変有効である
	②有効である
	③余り有効でない
	④有効でない
達成度 (事業目標に対して)	①達成できた
	②概ね達成できた
	③少し達成できなかった
	④達成できなかった

B. 事業内容の方向性

①現状維持
②内容の見直し
③統廃合・休止
④事業終了

C. 事業規模の方向性

①事業拡大
②現状維持
③事業縮小

Ⅱ 施策の点検・評価 総括表

施 策 分類 1	施 策 分類 2	調書番号	事務事業の名称	A. 自己評価						B. 事業内 容の方向性	C. 事業規 模の方向性
				戦略性	市の関 与の妥 当性	時代 適合性	効率性	有効性	達成度		
1 ・ 学校 教育の 充実	(1) 学校規模の適正化	教総 2	学校再配置検討事業	①	①	①	①	①	①	④	
	(2) 学校教育施設の整備・充実	教総 6	小学校施設改修事業	③	①	①	①	①	②	①	①
		教総 9	小学校施設管理事業	③	①	①	①	①	②	①	①
		教総 10	中学校施設改修事業	③	①	①	①	①	②	①	①
		教総 13	中学校施設管理事業	③	①	①	①	①	②	①	①
		教総 14	網野中学校管理棟改築事業	③	①	①	①	①	②	①	②
		教総 15	幼稚園施設改修事業	③	①	①	①	①	②	①	①
		教総 16	幼稚園施設管理事業	③	①	①	①	①	②	①	①
		学教 6	学校情報化推進事業	②	①	①	②	①	②	①	②
		学教 8	小学校管理運営事業	①	①	①	①	①	①	①	①
		学教 14	中学校管理運営事業	①	①	①	①	①	①	①	①
	(3) 学力向上と心身の育成	教総 5	外国語指導助手招致事業	③	①	①	①	②	②	①	②
		学教 1	指導主事設置事業	①	①	①	①	①	①	①	②
		学教 2	学校保健事業	③	①	①	①	①	①	①	②
		学教 3	学校医委嘱事業	③	①	①	①	①	①	①	②
		学教 4	学務経費	①	①	①	①	①	②	①	①
		学教 7	教科書図書採択事業	①	①	①	①	①	H19なし	①	②
		学教 9	児童教職員健康管理事業	①	①	①	①	①	①	①	②
		学教 10	小学校教育振興事業	①	①	①	②	②	②	①	①
		学教 11	小学校教育振興備品整備事業	①	①	①	①	①	②	①	①
		学教 12	小学校就学援助費	③	①	①	①	①	①	①	②
		学教 13	学校教育推進事業(小学校)	②	①	①	①	①	①	①	②
		学教 15	生徒教職員健康管理事業	①	①	①	①	①	①	①	①
		学教 16	中学校教育振興事業	①	①	①	②	②	②	①	①
		学教 17	中学校教育振興備品整備事業	①	①	①	①	①	③	①	①
		学教 18	中学校就学援助費	③	①	①	①	①	①	①	②
		学教 19	学校教育推進事業(中学校)	②	①	①	①	①	①	①	②
		学教 20	幼稚園運営管理事業	①	①	①	①	①	③	①	①

施 策 分類 1	施 策 分類 2	調書番号	事務事業の名称	A. 自己評価						B. 事業内 容の方向性	C. 事業規 模の方向性
				戦略性	市の関 与の妥 当性	時代 適合性	効率性	有効性	達成度		
		学教 2 1	園児等健康管理事業	①	①	①	①	①	①	①	①
	(4) 食育の推進	学教 2 2	網野給食センター管理運営事業	①	③	①	①	①	②	②	②
		学教 2 3	小学校給食管理運営事業	①	③	①	①	①	①	①	②
		学教 2 4	中学校給食管理運営事業	①	③	①	①	①	①	①	②
		学教 2 5	幼稚園給食管理運営事業	①	③	①	①	①	①	①	②
		学教 2 6	地元農産物給食利用促進支援事業	①	①	①	①	②	①	①	②
		学教 2 7	学校給食一般経費	①	③	①	①	①	①	①	②
	(5) 学校、地域の安全確保	教総 8	小学校スクールバス運行管理事業	①	①	①	①	①	②	①	①
		教総 1 1	中学校スクールバス運行管理事業	①	①	①	①	①	②	①	①
		教総 1 2	中学校スクールバス購入事業	①	①	①	①	①	②	①	①
		学教 5	学校安全対策事業	③	①	①	①	①	①	①	②
	(6) 地域に開かれた学校づくり		(7) の項目で個別掲載	※末尾に「学校評価」を添付							
	(7) 幼稚園、小学校、中学校 の取り組み		幼稚園 2 園								
			小学校 3 1 校								
			中学校 9 校								

施 策 分類 1	施 策 分類 2	調書番号	事務事業の名称	A. 自己評価						B. 事業内 容の方向性	C. 事業規 模の方向性
				戦略性	市の関 与の妥 当性	時代 適合性	効率性	有効性	達成度		
2 ・ 若 者 の 育 成	(1) 青少年の健全育成	社会 3	成人式開催事業	③	②	①	①	②	②	①	②
		社会 4	青少年教育事業	①	②	①	①	①	②	①	①
		社会 9	家庭教育事業	①	②	①	②	①	①	①	②
		社会 4 4	青少年スポーツ教室事業	③	①	①	①	①	②	①	②
	(2) まちづくりへの若者の参加促進	社会 1 3	毫州市学生交流団受入事業	②	③	①	③	①	①	④	②
	(3) 修学支援	教総 4	奨学資金給付等事業	③	①	①	①	①	②	①	②

施 策 分類 1	施 策 分類 2	調書番号	事務事業の名称	A. 自己評価						B. 事業内 容の方向 性	C. 事業規 模の方向 性
				戦略性	市の関 与の妥 当性	時代 適合性	効率性	有効性	達成度		
3 ・社会教育・スポーツの充実	(1) 社会教育体制の確立	社会 1	社会教育委員設置事業	③	①	①	①	②	②	①	②
		社会 2	社会教育指導員設置事業	③	①	①	①	②	②	①	①
		社会 1 4	社会教育総務一般経費	④	①	①	②	①	①	①	②
		社会 1 5	峰山地域公民館管理事業	③	①	①	①	②	①	①	②
		社会 1 6	大宮地域公民館管理事業	③	①	①	①	②	②	①	②
		社会 1 7	網野地域公民館管理事業	③	①	①	①	②	①	①	②
		社会 1 8	丹後地域公民館管理事業	③	①	①	①	②	①	①	②
		社会 1 9	弥栄地域公民館管理事業	③	①	①	①	②	④	①	②
		社会 2 0	久美浜地域公民館管理事業	③	①	①	①	②	②	①	②
		社会 2 1	地区公民館管理運営事業	①	①	①	③	①	②	①	②
		社会 2 2	峰山地域公民館運営事業	①	①	①	③	①	③	②	①
		社会 2 3	大宮地域公民館運営事業	①	①	①	②	①	③	②	②
		社会 2 4	網野地域公民館運営事業	①	②	①	③	②	②	②	③
		社会 2 5	丹後地域公民館運営事業	①	①	①	②	①	③	②	①
		社会 2 6	弥栄地域公民館運営事業	①	①	①	②	①	②	②	②
		社会 2 7	久美浜地域公民館運営事業	①	①	①	②	②	②	①	②
		社会 2 8	公民館一般経費	③	①	①	①	②	②	①	②
		社会 3 2	図書館一般経費	③	①	①	①	①	②	①	①
		社会 3 3	峰山いさなご施設管理運営事業	③	③	①	①	①	③	②	①
		社会 3 4	マスターズビレッジ管理運営事業	③	①	①	①	②	③	①	②
		社会 3 5	たちばな会館管理運営事業	③	①	①	①	②	①	①	②
		社会 3 6	網野教育会館管理運営事業	③	①	①	①	①	②	①	②
		社会 3 7	体育指導委員活動事業	③	①	①	①	②	②	①	②
		社会 3 8	社会体育指導者育成事業	③	②	①	①	②	③	①	②
		社会 3 9	社会体育団体育成事業	③	①	①	①	①	②	①	②
		社会 4 0	保健体育総務一般経費	③	①	①	①	②	②	①	②
		社会 4 1	京都府民総合体育大会事業	③	①	①	①	②	②	①	②
		社会 4 2	市民体育大会事業	③	①	①	①	②	②	①	②
		社会 4 7	体育施設管理運営事業	③	①	①	①	②	②	①	②
		社会 4 8	社会体育用学校開放施設管理運営事業	③	①	①	①	②	②	①	②
	(2) 図書館ネットワークの確立	社会 2 9	峰山図書館管理運営事業	①	①	①	①	①	①	①	①
		社会 3 0	あみの図書館管理運営事業	①	①	①	①	①	①	①	①

施 策 分類1	施 策 分類2	調書番号	事務事業の名称	A. 自己評価						B. 事業内 容の方向性	C. 事業規 模の方向性
				戦略性	市の関 与の妥 当性	時代 適合性	効率性	有効性	達成度		
	(3) 生涯学習推進体制の整備	社会31	図書館システム統合事業	①	①	①	①	①	①	①	①
		社会5	障害者教育事業	③	③	①	①	②	②	①	②
		社会6	成人教育事業	②	①	①	①	①	②	②	②
		社会7	女性教育事業	③	①	①	①	②	②	①	②
		社会8	高齢者教育事業	②	②	①	①	①	②	①	②
		社会10	芸術文化事業	②	②	①	③	②	②	②	②
		社会11	人権教育事業	③	③	①	②	②	①	①	②
		社会43	地域スポーツ振興事業	③	①	①	①	②	②	①	②

